

モニター世帯プロフィール

— ヒアリング内容からみた考察プロフィール —

現状

NO	夫婦の車に対する意識		現所有メインカー			現所有サブカー		
	夫	妻	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり
A 1	・カーレースをしており「カーグラ」愛読者でもある。レース用の車を3台保有していたこともあり、車が趣味。レース用のロードスの中古をレストアするなど、かなり熱が入る。英国車指向が強い。本来スポーシリティ系指向であるが、生活用としてセダンは欠かせなくなっている	・かわいい車が好き。運転もできるが、ほとんど助手席専門	・両親を乗せる機会が増え、4ドアセダンが必要になる	・夫主導だが、妻の意見は反映される	・夫はローバーにこだわりがあり、同ラインのホンダ車をチェック。予算内から条件に合う車(レジェンド)を選び、エンジン音がよい点(夫)、乗り心地がよい点(妻)でも満足	・レース用の車とは別に遊び心のある車が欲しい(自己満足趣味の領域) ・本来セダン指向ではないので、心が満足できる日常使いの趣味の車が夫にとって必要となった(しかし週末にレジェンドと同様、どちらかしか使わない)	・夫の趣味を妻が許容している(生活にゆとりがある)	・基本的にはロードスターが欲しいが、もはやプレミアムカーになっているためフォード2シーター外車&手が届く価格(239万円)範囲からMGFにおちつく
B 1	・スポーシリティ系指向で車好き。新車にはこだわらず、中古センターや友人間でやりとりをしている。乗り換えサイクルも早い。なりゆきや衝動買い傾向もあり、最近過去の無計画ぶりを少し反省している	・実用性重視 ・足である	・実質上、初めての増車 ・妻の車の必要性和子供(2人目)が増えることもあり、妻の日常使いの車＝ファミリーカーとして検討する	・夫の提案に妻は実用面でOK。 ・ボディカラーも気に入る	・乗員数が多く、子供の面倒も車内で見やすいという点からユーティリティ系に絞り込む ・ラポとMPVが最終的に残り、ディーラーの対応が決め手となり、MPVになる(妻は対応マナーに敏感)	・1台しかない時、セボから妻の通勤用として軽でもパワーのある車が欲しいので、買替えを検討 ・友人のアルトに乗り、気に入っていたので探す(子供ができて、妻が仕事をやめてからは夫の通勤用)	・夫・妻とも車種に対するニーズが一致	・アルトでなければ買替えないと断言できるほど、アルターボ(アルトワークス)にこだわり。中古で57万でもふみきったほど ・スタート時の加速パワーが気に入っている
B 2	・毎日の足であり、ファミリーメンバーにも欠かせないもの ・自分の車に対するこだわりより、生活やライフスタイルに合わせて車の買い替えを検討する。 ・大きなサイズの車が好き	・毎日の足、生活手段のひとつ。それだけに選択に当たっては賢い消費者としてチェックを行うしっかり者の妻。予算、サイズ、税金面、装備など、きめ細かく吟味する	・子供が歩くようになったのでロングタイプより、座席がフラットになる車に関心が向く ・前車のローンが終わったことも要因のひとつ	・ファミリーパワの提案にトランスファンのママが押切られる形で成立。ただし細かい条件のチェックはすべて妻が取りしきる	・後部座席がフラットになるという点から、ユーティリティ系に絞り込む ・エスティマとMPVとの比較でディーラーの前車の下取りのよい方に決定	・前車が古くなったため、同じディーラーからのすすめで検討。 ・先に予算ありき、で100万までと決めていた	・妻が使うため、すべて妻が決定 ・夫もしっかり者の妻に任せている	・AT、4ドア、エアコン、100万円以内が条件 ・軽でもいいかと思っていたが(本当は4ドアの軽は意外と高い) ・大幅に値引きをしてくれたこともあり、すべての条件を満たしたマチズに決定

今後・将来

NO	生活環境・ライフスタイルと車		今後の2台の車保有について		軽自動車に対する意識
	将来の家族と車との関わり	生活変化と車の関わり	時期購入の方向性	将来の複数所有の夢	
A 1	・DINKSなので、両親のことがなくなれば身軽。ゆえに趣味の車に走る可能性あり	・駐車場の確保が前提となったうえでの転居しかありえないが、もし1台にするとすれば、今のライフスタイルからは4ドアの方が優先になる	・メインカーがそろそろ買替え検討時期(2~3年後) ホンダ車か英国車(ローバー)のセダン、ボルボならステーションワゴンでもよい	・4ドアセダンの行き着くところにジャガーあり。車にふさわしい生活・年代(50代)になってからという思いがある	・今の生活には必要ないが、妻は自分が動かす車として適当だと思っている。CMなども目にとまり、かわいい車が気になる
B 1	・親との同居はないが、年に数回、全員で墓まいりなどがある。又スキー、キャンプ等のアウトドア指向があり、子供の成長とともにユーティリティ系車の積極的利用が見込まれる	・田舎(牛久)にいる限り、2台保有は続く ・都内を想定しても1台は保有する気構えであり、車は必需品	・サブカーがそろそろ買替え時期(限界か) ・夫のみの通勤用とわりきっているので税金面のメリットが大きい軽で十分。デザイン面でワゴンRをチェック	・夫の通勤用に夢としてなら、スペシャルティ系(フェアレディZ)に乗りたいが、デザインのよいパワーのある軽なら現状では満足できる ・2台の場合はLLユーティリティ系+軽がベスト。米国のミニバン(アストロ)にも関心あり ・夫妻ともフェアレディZへの夢は捨てきれない	・中途半端なMクラスセダンより、軽の方が実用的でよい。その方が気分的にも割りきれる
B 2	・親との同居の予定がある。子供が大きくなると妻が仕事をする可能性もあり…とちょっと予測できないが、親世帯にも車が4台あり、自分たちは減車し、借りてもよいかな、という意識もある(経済的にムダをしない) ・親の車がライフスタイルに合わない、自己所有の可能性はある	・夫の親世帯への同居が確定している。買物も至便になり、妻の足としての車のニーズはなくなる ・減車の可能性大	・現状がベストなので、当分は考えられない	・ユーティリティ系+SSセダンの今が理想に近いと思っている さらに望むなら、LLユーティリティ系として米国のミニバン(アストロ)+Sワゴン(リベロインプレス)	・経済的ではあるが、狭いし安っぽく、命の保障がない ・夫妻ともアンチ軽

現状

NO	夫婦の車に対する意識		現所有メインカー			現所有サブカー		
	夫	妻	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり
B 3	- かつては趣味でランサーやファミリアのMTに乗っていたが、経済的に生活に必要な車とは?と考えるようになってしまった - 安全装備や、より快適性の増す装備にこだわりがある今ではメインカーが妻の車であるという意識になっている。本音を言えば、あまり人と同じ車には乗りたくない	- 毎日の足、生活手段のひとつ - 夫とともに安全性に対し意識が高く、子供を乗せる時のシートや場所にも配慮している	妻が日常的に乗れてなおかつ子供の成長とともにキャンプなどアウトドアにも対応できるカーゴスペースのある車が必要になる	- すべて夫に任せている。装備など細かいところにも妻はタッチしていない - しかし友人の乗っている車などから車種の提案は行う	- ディーラーが近いことと安全装備(デュアルエアバック、ABS、4WD)にこだわる。セグメントとMPVに絞ったが、MPVは安全装備がすべて標準。しかも下取り価格もよかったこともあり決める - ヴォクセルは安全ではないという意識があり、8人乗りにしている - メーカーロイヤリティも少し影響している	一戸建購入により、車が必需品となる夫の通勤用なので、軽でよいと割切った	- 夫が使うため、さらにこだわりはない - 完全に夫まかせ	- 軽のベストセラーということで、ミラなら安心。 - さらに50万を割る価格が何より魅力で即決
B 4	- 仕事場への足として利用するが、渋滞や行き先で駐車場を捜すことに不便を感じている - 運転も好まない。車選びにもこだわりがない。購入サイクルも長い(8~10年)車種はいつも即決で決める	- 毎日の足、生活手段であり必需品。近距離でもすぐ車を使ってしまう - 外車にも憧れるが、予算的なもので今のところ断念 - 道路事情からサイズがとり回ししやすいという思いが強い - 車に関しては、妻の方がこだわりあり	- 前車(10年乗った)が古くなったことと、2人目の子供が生まれるため、4ドアセダンが必要になる - 長いつき合いのディーラー担当者のすすめも後押しになっている	妻が自分で購入するため、夫はすべて妻まかせ	- 先に予算ありき(200万)で、BMW中古とマツダで検討 - 予算とサイズ(サイズ)の面から、手頃だったのがセダンのファミリー	内装等の仕事にとりまわししやすいのが軽。前車のタウンエースは大きすぎると思っていたところ、友人の車で実車を見てチェックしていた	妻は経済的に新車というところが気に入ったが、軽なら経費も安いのでOK	安全性に不安はあったが、友人の実車を見て気に入った(ミカブ)ため即決
B 5	- 車は足であり、生活手段である。今はファミリーカーも仕事用もユーティリティ系ワンボックスカーであるが、ランパウトにも関心がある。しかし車に対する執着はほとんどない - 安全性に対する意識あり	- 車は足であり、生活手段である。どんな車の運転にも事故に対応していけるたくましさがある - タウン用にMクラスワゴンや外車ワゴンに関心が向いている	- 仕事で使用して傷んでおり、子供が生まれるので新車にしたいという意識が夫にある。またタイミング的によい時期にあたっている - 前車が3年目の車検で下取り価格もよい時期	妻はまだ3年だし無計画だと思ったが、出産でそれどころではなく夫まかせ	- 下取りの面からも、同級生が営業所勤務だった点からもトヨタ - タウンエースはモデルチェンジで値引率がよかった	仕事専用車がこれ、すぐにでも必要な事態(予定外の出費でタイ)	夫の仕事専用車なので、夫まかせ	- 親しい人が三菱のセールスマンだったので、すぐに声をかけて決定(ミニキャブ) 4WDにこだわり

今後・将来

NO	生 活 環 境 ・ ラ イ フ ス タ イ ル と 車		今 後 の 2 台 の 車 保 有 に つ い て		軽自動車に対する意識
	将来の家族と車との関わり	生活変化と車の関わり	時期購入の方向性	将来の複数所有の夢	
B 3	- 同居の可能性もなくはないが、想像もつかない - 家のローンもあり、経済的に京都、松山への帰省もしにくくなっている。子供が大きくなり、スキーなどのレジャーニーズが活性する当分はユーティリティ系がフィットする	国内外の転勤の可能性もある。その場合は夫の通勤用の車が不要になる	- 車も住居もローンなので、2台とも乗りつぶし、その間に貯金をためる必要がある - 当分は次の車は考えられない	年をとると小ぶりがよいので、LLユーティリティからSワゴンへ。また最近のセダンはトランクも大きく、検討に値するところから、広範囲から選ぶことになりそうである	用途限定で割りきれば別だが、税制の優遇がなかったら必要がない車というのが基本的な考え
B 4	両親との同居はないが、子供の習い事が多いので送迎が中心。今後もしばらくは変わらない見込み。道が狭いのでセダン4ドアで間に合っている	妻は子供が電車で習い事に通うので、駅に近い方がよいと思っていて、夫は緑の多い環境に満足しており当分は変化なし	- 夫 仕事用のサブカーが買替え時期 - 今までと同じタイプの車の新車でメーカーも同じ(三菱の軽は故障も少なく気に入っている)	- 他車に興味のある妻としてはマツダ以外の車に関心あり - 外車への憧れはなくなったが、ランパウト系(パジェロ)やLLセダン(クラウン)にも関心が向いている	
B 5	同居はないが、行来には多人数乗れるユーティリティ系ははずせない	- 新興宅地なので、車がない生活はない - 夫が仕事に車を使用する限り、2台保有は続く。タウン用にワゴンのニーズもあるので、景気がよければ増車、悪ければ減車。トヨタのLLユーティリティ中心に車選びを行う	タイミングと条件にもよるが、当分考えられない	- レジャー用・仕事用ユーティリティ、タウン用ワゴンと3台が理想 - レガシイやボルボワゴンなど、ちょっと昔人気の車種に関心あり	- 経済面でメリットはあるが、安全性の面で信頼していない(特に夫) - 現使用も覚悟して乗っているが、本当はLLユーティリティが希望

現状

NO	夫婦の車に対する意識		現所有メインカー			現所有サブカー		
	夫	妻	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり
B 6	・外車指向が強く「NAVI」を愛読。人と同じ車には乗りたくないという差別化意識が強く、外車でも金持ち指向のベンツやBMWなどのドイツ車をあえてハズしている（フィットやサブ9000を購入） ・お金のゆとりがある訳ではないが、中古でも新車でも500万以上するエスエヌな車に関心が向く ・パーソナルカーとしては安全性は二の次だが、家族のことを考えると安全性は第一	・毎日の足、生活手段であったが、夫の影響で外車、珍しい車指向に目覚める ・安全性からも大きな車に関心が向いている	・前車の仏車がこわれ、必要にせまられた	・夫の外車指向に影響されているが、故障に対する不安が若干ありしかし最終的には夫まかせ	・珍しい外車×予算から、ルノー、ミニも検討したが、サイズが小さく、価格も安くない ・サブにいた知人ルートで600万の上級車種（9000）が中古250万で入手可能となった ・見栄っぱりなので、デザイン希少性プレステージが気に入っている	・2人目の子供が増えるということで、気分的に衝動買い ・通勤に使う実用車として必要。丁度トヨタに勤務しており、手続きも簡単で新車に買替え安い	・妻は買替えたのを知らなかったくらい介在しない	・実用車としての割りきりと家族の人数を考え、ユーティリティ系 ・トヨタに勤務しているため、必然的にライトエース（実用車は深く考えない）
C 1	・車は足であり、移動手段にすぎない ・車種ではクラウンに対する信頼が厚く、安全性、居住性など、不満がない	・車は足であり、電車のように外出を意識しなくてすむ。動くマイルーム感覚で使用している ・電車で動くことの方が少ないほど、ツールとして使いこなしている（要は車の運転が好き、苦痛にならない）	・前車が古くなった ・家族が使い、乗るファミリーカーとして最適のものを選ぶ	・夫と夫の父に任せきり ・会社名義なので口出しはしていない	・親の代から40年来ずっと社用（自営）でクラウンに乗っており、メーカー、車種に対する信頼が絶対的 ・室内とスペースと安全性からクラウンがベスト	・同居の弟が結婚し、2台あるうちの1台を持っていったため、必要となる ・家族が多く、運転者も多いので、2台は必要 ・メインカーの控え的存在	・クラウンは大きいので、Mセダンでもよいと思った	・すでに会社所有していた車を自宅にもってきたため、購入はしていない
C 2	・車は足であり、移動手段車選びのポイントは使い勝手のよさで、運転・駐車しやすい、安全性。 ・基本的に大きすぎないセダン指向がある。予算・管理もしっかりしている。 ・外車は修理・メンテナンスが高いので眼中にない ・運転もあまり好まない	・車は足であり、生活手段BMWに憧れている。 ・米国でステータスの高いホンダとトヨタ以外はマイナーなメーカーとして受止めている	・米国から帰国し、妻の足として乗りやすい車が必要になる ・子供が小学校に入学し、送迎の必要性もある	・妻が乗るので、選ぶプロセスについて夫は妻に一任。妻の意向を大切にしているが、最終的な決定は行う	・内装のシンプルさやエンジンに対する魅力、創立者への共感からホンダに信頼感 ・車種は乗りやすさ重視（Mセダンのアコード）	・子供が中学受験期に入る前にアウトドアイブを楽しみたいという気持ちが夫にあり、ユーティリティ系に関心が向く。夫通勤用のビュックからの買替えを検討 ・両親と食事に行く時も1台に全員乗れるという点で気持ちがたまる	・妻は車に特にこだわりがなく、夫に賛成	・乗員数多数という点でユーティリティ系 ・安全性には疑問が残るが、デザインのよさ（エスクァイアはまだなかった） ・価格安さが決め手となりプレーヤー

今後・将来

NO	生活環境・ライフスタイルと車		今後の2台の車保有について		軽自動車に対する意識
	将来の家族と車との関わり	生活変化と車の関わり	時期購入の方向性	将来の複数所有の夢	
B 6	- 夫の親との同居が想定される - 夫婦だけになったら、車で旅行したいというニーズがあり、行きつくところ2台外車の可能性もある - いずれのライフスタイルにも外車ははずせない 2台保有の決意もかたい	- 親との同居で転居の可能性あり - その場合も趣味としての外車セダン、実用的なユーティリティ系の2台というスタイルが基本	- 使用頻度の高いメインカーがそろそろ買替え検討時期 - 大きめの新車で外車。今の住環境なら、走りがいのあるキャデラック(500万)に関心	- 夫・妻の思惑が交叉するが、4ドアセダンと趣味の車、妻の実用車を分けて、4台が理想となる - 日常用セダン→ベンツC/E(夫) - ゴルフカプリオレ(妻) } 独車 - レジャーはユーティリティ、又はランパウト系 →レンジローバー/アストロ(夫) - 英車 米車 - ハジメ(妻) - パーソナルカーとして →スペシャリティ系アルファロメオ(夫)伊車 →軽ワゴンR(妻)	貧乏くさく、用途を割り切らないと、取込めない。Sクラスセダンなら割切って軽の方がよいとの見方
C 1	- 同居中の両親や兄弟家族との交流も活発。全世帯揃っての旅行にも車を活用している。特に別荘があるため、移動手段として欠かせない。3人の子供が大きくなるとクワンでも手狭になるので、ユーティリティ系に関心が向く。子供が親離れするまで、このパターンは続く。ただし子供の成長に変わり、親の面倒を見る可能性あり - 夫の母は現役ドライバーだが運転リタイすると両親のフォローは妻の役割になり、両親を乗せるための車ニーズになる。再びLL4ドアセダン(クワン)に戻る可能性も大	転居はなく、子供の成長・独立により生まれる変化のみ	現状で満足なので当分なし(又、会社の車をもってくる可能性もあり)	- あくまでクワンがベースに展開する - 子供の成長もあり、ユーティリティ系(オグッセイ)が夫・妻とも気に入っている - 妻はクワンにこだわらないが、夫の意見が絶対	
C 2	- 親との同居もなく、子供も親離れしており、子供同士の交流を見守っている。 - 子供の成長とともに家族旅行も空の旅中心になり、レジャーで車を使うことは少なくなる。ゆえにユーティリティ系は不要になる	転居はないため、子供の成長による変化のみ	- メインカーが古くなっている(8年)ので、同タイプ(4ドアセダン)の車への買替えが近々ある - 予算は250万くらいだが、夫妻にとって印象のよいおダ車になる可能性が大きい	2台保有ならプレーリーよりもっと大きなユーティリティ系の検討の可能性もあるが、4ドアセダン1台(プレミアム、インテグラ)になる可能性も大きい - 妻はワゴンにも関心をもっている	安全性に不安あり、関心なし

現状

NO	夫婦の車に対する意識		現所有メインカー			現所有サブカー		
	夫	妻	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり	車購入の背景	夫婦のかかわり	車種へのこだわり
C 3	・車は足であり、移動手段なので生活スタイルに合ったタイプを選ぶ ランパ外系に関心が向きはじめている ベツに関心がある。しかし実際には購入に結びつきにくく、1台をこわれるまで乗りつぶす主義	・車は足であり、生活手段。特に自分が常用している「軽」はまさに自転車かわり ・外車に関心があり、子供には安全な車に乗せたいという気持ちがある	・前車(軽2ドアアルト)がこわれ、急拠必要となったため、車体も前車と同様だが前車で不便を感じていた2ドアを5ドアに	・妻が乗るので、夫は妻に一任	・ディーラー、メーカーに対する信頼もあり、前車と同じアルト (予算60万で折合う)	・前車(114トアセダン)の車検切れをきっかけに子供とアウトドライブを楽しむためにユーティリティ系を夫の提案で検討。 中古車もそれなりに高く、新車へと気持ちがかたまる	・予算内(200万)でATであれば、妻はよいと思ったが結局300万ほどかかる	・三菱車のランパ外(パジエロ)も魅力だったが荷物が積めないのでもリカをチェック サイズが駐車場に合わず(車高・全長が長い)断念。同じユーティリティ系なら実家の関連で日産車がよいということになる(ラゴ)。同時に妻乗りの車も必要となり、日産のセールスマンにアルトを捜してもらうことになり初めての2台保有が実現
D 1	・現在、群馬に単身赴任しており、日常の足として欠かせない存在。週末に帰宅する時も足として使っている。実用的で乗りやすければよいという程度でこだわりはない	・生活手段であり、ストレス発散の道具。つまり運転も好きだがスペシャリティ系の車が大好き。オープンカーも含め、このタイプのいろいろな車に関心がある。 スペシャリティに熟年層がファッションに乗るのがカッコイイというのが持論でもあり、そのためスタイリング、カブリックにもこだわりがある 内装、カブリックの点では外車が勝っているという認識あり	・前車(114トアセダン)が車検になるのとリフレッドのボディカラーの退色が気になってきたため、妻が好きでスペシャリティ系の2ドアに関心が向く ・家族全員で乗ることも少ないため、足として妻と長女が納得のいくもの	・夫は妻に一任 長女は外車オープンカーにこだわる	・予算は300万。スペシャリティ系仏車のプロジェクトや英車MGV8のオープンタイプを検討したが、屋根つき車庫にできないため断念 排気量にこだわると(2500CC以上)カブリック展示車のスタイリングも気に入る(ウィング、エアロパパー)	・前車のモデルチェンジで満足していたので同車種に決めている	・夫のみが使用するので、夫に一任	・夫は日産系列会社の役員なので、日産車に決まっている。リースで会社扱い 乗りやすさでローレル
D 2	・祖父の代から車があり、16歳の時グロリア、23歳スカイラインGT。運転も好きで東名で車のスポーツに対するポテンシャルチェックをしているほど。自らも大規模クリーニング店経営者であり、車を自室感覚で活用している。 '66年購入のスカイラインも20年乗り、売却せずにガレージに預けているほど。家族で4台を使い分けており、実用性と趣味を一致させるための複数所有にもこだわりがある。 新車を乗りつぶす。安全性に関してはFFに信頼感あり	・車は足であり、自転車感覚で乗っている。運転自体は好き ・車は運転のしやすさとボディカラーにこだわる。シートの黄色、やゴムの紺など、スタイリングと色に弱い	・妻専用の前車(セガソ)が古くなったところで、友人の車を運転し気に入ったので欲しくなった	・妻の提案に対し夫はアゲイにより独車が気に入っているため賛成	・車体の割に車内が広く居住性がよい(ハッチバック) TPOを選ばないオールマイティなところ さらに夫が重視するFFであり、サービス拠点も多く(トヨタDUO)メンテナンスの心配もない	・前車(3ナンバー外車)が古くなったため商用車として受当なものを検討。 誰が見ても社長の乗る商用車としてふさわしいものを選ぶ必要がある	・夫に一任	・予算内でしかもベツ、BMWのように目立たない無難なもの。 自分を満足させてくれるものを捜すのは難しい 日産のクラウンクラスには信頼がなかったのでクラウンに決定

今後・将来

NO	生活環境・ライフスタイルと車		今後の2台の車保有について		軽自動車に対する意識
	将来の家族と車との関わり	生活変化と車の関わり	時期購入の方向性	将来の複数所有の夢	
C 3	・親との同居はないが、子供の独立(3人中2人は親離れしている)とともに、夫妻で小旅行・レジャーを楽しみたい意向が強い(現在は夫のみが友人と頻繁に出かけている) その時には、ユーティリティ系からランパウト系へ移行する	・転居はないため、子供の成長による変化のみ	・1つの車を長く乗りたいため当分は考えられない 必要がでた時は、車のタイプと価格優先 次期はサブのランパウト系かメイン軽の買替えが予想できる	・1台は足まわりのよい軽(ワゴンRミニカ) もう1台は夫妻で希望が分かれ、夫はレジャーにも使える ワゴン→4WD ランパウト系→ベンツG 妻はL4トアセダソ→ベンツC200スカライン	・購入時のみだけで、夫妻とも関心なし。自転車が変わりと割切っている
D 1	・親に関しては同居はないが、病院の送迎などがある 子供とは同居のうちは、妻のニーズに合わせる形で共有が続く 子供の独立(家を出る)とともに妻の専用性が増すため、スペシャリティ系2シーターの可能性もでてくる	・転居はないが、ガレージを庭にする可能性あり。駐車場を借りればすむので車保有には影響なし	・当分ないが、妻はフェアレディZのオープンカーに憧れている(熟年が乗るのがカッコイイ)	・妻と夫のニーズが全く違うので、それぞれのパーソナルカーとして2台はいつまでも必要 夫→Lセダソ 妻→スペシャリティ、できればクラシックフェアレディのフルオープンフォード(マスタング)	・日常の足として使い勝手はよいが、実用的ではなく心の満足もないので、夫妻のニーズに合わない
D 2	・親とはマンションの上下感覚で住んでいるが関わりはない。子供の結婚により家族のスタイルに変化は予想されるが、夫婦で国内外旅行や米国でのロングドライブを行いたいという意向があり、車は夫妻にとってパートナーでもある 夫妻中心の車所有なので保有スタイルや車選に大きな変化はないと思われる	・当分転居はないが、定年のない夫のライフが転居のきっかけになる可能性あり 夫は田舎生活も考えるが、妻は都会派指向である。地方に別宅の可能性あり	・車は長く乗るので、当分は考えられない メインカーの買替えもゴルフかゴルフで検討され、同車種になる可能性が高い	・現所有の4台が理想の状態 用途別におさまっている。あとは気持ちの満足というところである 仕事用→Lセダソ(クラウン) 妻の日常用→Sセダソ(ゴルフ) スキー・レジャー用→ランパウト(ランドクルーザー) 趣味用→クラシック(スカライン54B) ※レストアの予定 もう1台ふやせるならスペシャリティ系	・高速道路では安全性からスポーツに乗れず、周りの迷惑 自分達の車として関心はない